

## カリキュラム

機構施設名： 静岡職業能力開発促進センター

実施機関名： 株式会社東京ナレッジプラン

26-22-12-116-080

D. 倫理・セキュリティ	116 情報漏えいの原因と対応・対策
セキュリティ対策	

コースのねらい	情報漏えいが発生する原因と発生した場合の対応、防止するために必要となる対策を理解し、情報漏えい発生ゼロを実現する組織体制確立のためのポイントを習得する。
---------	--

		「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (H)	日 程	
					月 日	時刻
講義内容	1	情報漏えいの原因と損害	(1) 情報漏えいのプロセス 情報漏洩が発生するプロセス（どのように発生するか）について事例を使用して解説します	1.5	令和8年 11月17日(火)	9:30～16:30 昼休憩 12:00～13:00
			(2) 情報漏えいの原因（事故、紛失、故意、技術的他） 情報漏洩が発生する原因についてケースごとに具体的に解説します			
			(3) 情報漏えいによる損害 情報漏洩が起こると企業にどのような損害が発生するかについて解説します			
			演習			
	2	情報漏えい発生時の対応	(1) 情報漏えい発生時の対応ステップ 情報漏洩が発生したときの対応についてどのようなステップで進めるかを解説します	1.5		
			(2) 情報漏えいのタイプ別対応 発生した情報漏洩の内容によって対応が異なります。各タイプ別に対応方法を解説します			
			(3) 対応手順 情報漏洩が発生した場合、その対応は迅速に行う必要があります。その手順について解説します			
			演習			
	3	情報漏えいの対策	(1) 従業員個人の対策 情報漏洩対策として従業員に対する対策は必須です。何をすべきかについて解説します	2.0		
			(2) 組織としての対策 組織としてどのような情報漏洩対策をしているかは世間からも問われる内容です。その対策について細説します			
			(3) 技術的対策 情報漏洩を防止するための技術的な対策について解説します			
			演習	現状の自社の情報漏洩対策を明確にし、その内容について検討を行い、さらに確実な対応・対策にするために何をしなければいけないかを検討して頂く（グループ討議）		
				合計時間	6時間	

カリキュラム作成のポイント	管理部門だけでなく、全社員に向けて自身でも注意できるよう、情報漏えいとはどういうものかを事例を交えて学び、リスクマネジメントとして、自社で漏えいが無いようにするにはどうすればよいか。万が一、情報漏えいがあった場合はどのように対応すればよいかを考える基礎を学びます。
---------------	--